

科目名	キャリアデザイン2							年度	2026
英語科目名	Career Studies 2							学期	前期
学科・学年	電子・電気科 電気工事コース 2年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	長澤 正明		教員の実務経験	有	実務経験の職種		電気技術者		

【科目の目的】

自分の「キャリアデザイン」を自分自身の言葉で語り、構築できるようになることを目的とする。

【科目の概要】

社会人として必要な知識や自己表現力などを学びます。

【到達目標】

電気工事分野の業界・企業研究をしっかりと行い、志望企業から採用（内定）を得ることを目標とする。

【授業の注意点】

授業中の私語や授業態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。就職や進路決定に対する意識を持ち主体的に授業に臨む事が求められる。オンライン授業含め遅刻、欠席、課題提出の遅れや未提出は、評価の対象とする。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力
到達目標 A	積極的に自己分析を行い、将来なりたい自分を具体的に想像できる	積極的に自己分析を行い、将来なりたい自分を想像できる	自己分析を行い、将来なりたい自分を想像できる	自己分析はできるが、将来なりたい自分を想像できない	自己分析を行い、将来なりたい自分を想像できない
到達目標 B	しっかりと就職活動におけるマナーを細かい部分まで理解している	しっかりと就職活動におけるマナーを理解している	就職活動におけるマナーを理解している	就職活動におけるマナーを一部しか理解していない	就職活動におけるマナーを全く理解していない
到達目標 C	添削する必要がない、履歴書・エントリーシートを作成できる	ほぼ添削する必要がない、履歴書・エントリーシートを作成できる	履歴書やエントリーシートの作成ができる	履歴書やエントリーシートの一部の内容しか作成できない	履歴書やエントリーシートの作成が全くできない
到達目標 D	内定の目標に向かい、就職試験対策について自ら積極的に行動できる	内定の目標に向かい、就職試験対策について自ら行動できる	就職試験対策について行動できる	就職試験対策について、ほとんど自ら行動しない	就職試験対策について自ら行動できない
到達目標 E	社会人としての将来について考え、具体的に目標を掲げることができる	社会人としての将来について考え、目標を掲げることができる	仕事をする上で、自分自身の将来について考え、イメージできる	自分自身の将来についてイメージがあまりできない	自分自身の将来が考えられない

【教科書】

キャリアサポートブック

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

試験：70%試験を総合的に評価する。小テスト：15%授業内容の理解度を確認するために実施する。平常点：15%積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		キャリアデザイン2			年度	2026
英語表記		Career Studies 2			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	自己分析	自己分析をしっかりと行い、将来なりたい自分を想像する	1 業界	自分の携わりたい業界を決めることができる	3	
			2 自身の強み	自分自身の強みを理解している		
2	企業研究	電子・電気業界の企業を把握し、働きたいのある企業を見極める	1 職種	職種を決めることができる	3	
			2 様々な条件	労働条件や福利厚生など自身で判断できる		
			3 企業の選定	企業を比較研究し、自身で判断できる		
3	方法とマナー	企業に連絡する上で注意すべきことを理解する	1 電話のマナー	電話のマナーを理解している	3	
			2 メールのマナー	メールのマナーを理解している		
			3 会社訪問・見学	会社訪問の際の注意点を理解している		
4	Webエントリー	Webエントリーの注意点を理解する	1 企業情報サイト	情報サイトの正しい活用方法を理解している	3	
			2 エントリー	企業にエントリーを行い、やりとりができる		
5	エントリーシート・履歴書作成	説得力のある応募書類を作成する	1 自己PR	「性格＋行動＋思考」で表現している	3	
			2 頑張ったこと	学生時代に取り組んだことをまとめられる		
			3 志望動機	明確に自分の言葉で表現できている		
6	筆記試験対策	筆記試験に向けて対策を行う	1 一般常識	社会人としての知識を習得している	3	
			2 適性試験	試験対策を行い、問題形式に慣れておく		
			3 作文試験	相手に伝わりやすい文章を書くことができる		
7	面接試験対策	面接試験の際に注意すべきことを把握する	1 面接のマナー	面接時のマナーを正しく実践できる	3	
			2 自身の強み	自身の強みを自身を持って相手に伝えられる		
			3 柔軟性	どのような質問にも対応できる		
8	内定後の過ごし方	仕事をする上で、自分自身の将来について考え、イメージする	1 将来像	十数年後のなりたい自分を想像できる	3	
			2 目標	将来の目標を決めることができる		
			3 今からできること	目標に対して今行動すべきことが理解できる		
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等